

迎春

スウェーデン交流センター（スウェーデンヒルズ）

広報

どうぶつ

1 2000
1月1日発行
No.556

発行 当別町
編集 企画部企画課

人口20,874人（男性10,294人・女性10,580人）7,661世帯（1人減・1世帯減/12月1日）



当別町長 伊達 寿之

風雪を克服し130年 21世紀をめざして

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

健康で希望と期待が持てる一年である事を心からお祈りいたします。昨年は、本町の基幹産業である農業におきまして、気候に恵まれた幕開けであり、春耕期も順調な作業が進み、出来秋を大きく期待していたところでありました。しかしながら、夏から秋への猛暑が、主要作物である水稻を始めとして農作物全般に病害虫の発生を引き起こし、期待とは一変し品質低下による減収のため、農家経済を始め本町の経済にも大きく影響があったところでもあります。

長引く景気の低迷を回復させるため、国に於ては地域振興券、本町に於ても「ゆとりっら商品券」などを交付しながら努力を重ねた一年でもありました。

公共事業につきましても、高齢化社会に対応する当別町総合保健福祉センターの着工、バリアフリー化を図るため、JR当別駅にエレベーターの設置、公民館世紀分館の完成など、町民福祉向上のため皆様のご理解とご協力をいただきながら努力させていただきました一年でありました事、心から感謝を申し上げます。

迎えました平成12年は、本町に開拓の縁が下ろされてから130年になる節目の年であり、先人が開いた当別を更に住み良い町とするための事業を展開しようと考えているところでもあります。

「自然と調和し、ゆとりと豊さが感じられるまち、とうべつ」を目指し、21世紀を見越した当別町第四次総合計画に添った町づくりに邁進する覚悟がありますが、限られた財源であるため、優先度、緊急度などを町民の皆様にご理解いただき、町民の皆様のご立場に立ったきめ細かな行政の執行を職員と共に進めて参る決意でございます。

どうぞ本年も変わらぬご支援とご協力を心からお願ひし新年の挨拶とさせていただきます。

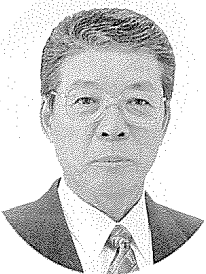
謹賀新年

当別町

町長 伊達 寿之
助役 飯田 敬之
収入役 高橋 嘉二
教育長 藤中 彰二

当別町議会

議長 泉 亭 俊彦
副議長 内 海 英 徳
議員 堀 梅 治
千 葉 莊 康
柏 樹 正
竹 田 和 雄
小 武 正 寿
湯 浅 俊 一
田 畑 富 美 男
村 上 弘 志
前 澤 昭 治
後 藤 正 洋
本 屋 路 喜 一 郎



当別町議会議長

泉 亭 俊彦

2000年を迎えて

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、町議会活動にお寄せいただきありがとうございます。心から厚くお礼申し上げます。

さて、平成11年は日本経済も上昇とは言えず、依然厳しい年でありました。

本町の基幹産業であります農業は、高温続きの異常気候により、農業経済はもとより、町全体に厳しい影響を及ぼす結果となりました。然し乍ら、時代は止まることなく高齢化社会に直面する中で、町民が心豊かに何よりも安心して暮らせる社会を構築することが望まれております。

私も議決機関と致しましては、行政とともに住みよいまちづくりを目指し、決意を新たにしているところであります。

どうぞ本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶と致します。

4月 (April)

- 10日 オレ・プロセーション作、スウェーデンガラスの展示会(約1カ月・スウェーデン交流センター)
- 11日 知事・道議会議員選挙
- 14日 花いっぱいセミナー(田西会館)
- 25日 当別消防祭(当別消防署)
当別町議会議員選挙



入学式(当別小学校)

5月 (May)

- 1日 新施設の「森林学習センター」と宿泊棟がオープン(道民の森・神居尻地区)
- 9日 市街地周辺のパンケ川の合同清掃(当別小学校前ほか)
- 14日 ことぶき大学開校(公民館)
- 16日 地鎮祭(現・西当別保育所)
「とうべつファミリー農園」農園まつり(青山)



当別消防祭

6月 (June)

- 5日 青山中央小中学校児童・生徒によるフキ・ウドのプレゼント(町立養護老人ホーム長寿園)
田植え体験交流会(東裏)
- 12日 「YOSAKOIソーラン祭り」に町内の2チームが参加。(北・大通り会場ほか・2日間)
- 13日 北海道植樹祭(道民の森・神居尻地区)
- 16日 消防訓練大会(当別小グラウンド)
- 19日 九十九祭(2日間・北海道医療大学)
- 20日 夏至祭(スウェーデンヒルズ)



田植え体験交流会(東裏)



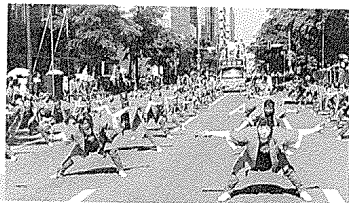
第16回「夏至祭」



当別YOSAKOIおどり隊(北・大通り会場)



第50回「北海道植樹祭」



第51回「成人式」



新春こどもカルタ大会



「北石狩農業協同組合」発足式



第17回「あそ雪の広場」



卒業式(西当別中学校)

1999年の とろぺつ

昨年の主な「町内のできごと」を、写真と年表で掲載しました。
なお、写真はできるだけ昨年の広報誌に掲載できなかったものを優先的に使っています。ひょっとしたら、このコーナーを見ている皆さんやお子さんも写っているかも……。(なお、カッコ内は開催会場など)

1月 (January)

- 4日 町主催の新年交社会(田西会館)
- 7日 消防出初式(公民館)
- 15日 成人式(総合体育館)
- 17日 新春こどもカルタ大会(出場28チーム・改善センター)
- 29日 森の道会館落成式(同会館)
- 31日 町民スキー大会(中小屋スキー場)

2月 (February)

- 1日 北石狩農業協同組合開所式など(JA北いしかり本所)
住所の「字獅子内(一部)」などを「獅子内」「スウェーデンヒルズ」に変更
- 13日 あそ雪の広場(阿蘇公園・2日間)
- 18日 石狩支庁主催の「花のみちフォーラム」(改善センター)
- 25日 町青少年善行者顕彰式(公民館)

3月 (March)

- 2日 永年勤続優良従業員表彰式(商工会長表彰～98人、当別町感謝状～22人・商工会館)
- 7日 町長杯カラオケ大会(改善センター)
- 19日 町教育奨励賞授与式〔受賞～22人・2団体〕及び町スポーツ賞授与式〔受賞～24人・2団体〕(公民館)
- 23日 地域振興券の交付開始



中小屋小学校で開校100周年記念式典



ふれあいふるさと市場



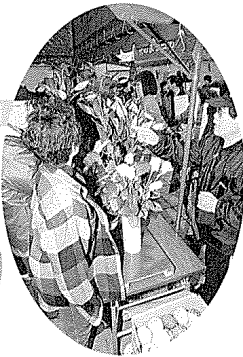
消費生活展



青山中央小中学校で開校記念式典



バリアフリーのエレベーター完成(当別駅)



消費生活展

10月 (October)

- 1日 介護保険の「要介護認定」の申請受付開始
- 4日 「(仮称)当別町総合保健福祉センター」建設工事安全祈願祭(西町)
- 8日 地域おこしレディースセミナー(福祉センター)
- 10日 ホーム・改札口を昇降するエレベーターが供用を開始(当別駅)
- 17日 青山中央小中学校閉校記念式典ほか(青山中央小中学校)
- 24日 消費生活展・ふれあいふるさと市場(改善センター)
- 29日 当別町赤十字奉任団創設35周年記念式典(改善センター)
- 31日 当別町文化祭(公民館ほか・3日まで)

11月 (November)

- 2日 スウェーデンヒルズ文化祭(スウェーデン交流センター・7日まで)
- 3日 当別町表彰式(役場)
- 13日 開校100周年記念式典(中小屋小学校)
- 14日 スーパードッジボール大会(総合体育館)
- 20日 少年の意見発表会(公民館)
- 22日 ゆとりっち商品券の販売開始(当日で完売)
- 26日 当別町女性のつどい(公民館)

12月 (December)

- 3日 当別町水稲採取組合設立30周年記念式典(田西会館)
- 5日 町民ドッジボール大会(総合体育館)
- 8日 公民館世紀分館落成式(世紀会館)
- 12日 ルシア祭(スウェーデン交流センター)
- 23日 町営の中小屋スキー場がオープン



「ゆとりっち商品券」購入に長蛇の列



「ゆとりっち商品券」購入に長蛇の列



ルシア祭(ス・交流センター)



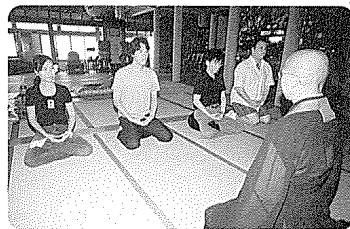
ファミリー農園でいちごまつり



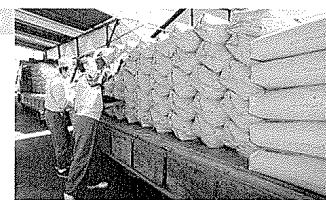
岩出山と当別の子が道民の森で交流



七夕(北季節保育所)



米の初出荷 (JA北いしかり本所)



留学生の座禅体験



約480人が参加した防災訓練



西町町内会の運動会

7月 (July)

- 4日 どうぶつファミリー農園・いちごまつり(青山)
- 18日 SUNキューフェスティバル(白樺公園)
- 23日 小説「石狩川」の作家=本庄陸男を偲び献花式(ビトエの文学碑前)
- 27日 当別ダム植樹祭(青山奥)
- 30日 ロイズコンフェクトふと美工場完成(ビトエ)

8月 (August)

- 4日 岩出山町から小中学生66人の交流訪問団が来町(3日間)
- 8日 ふれあいふるさと市場(ラルズ駐車場)
- 16日 米国・台湾国籍など4人が4家庭にホームステイ交流(26日まで)
- 22日 親子ソフトボール大会(当別小グランド他)
- 24日 老人クラブ連合大会(総合体育館)
- 27日 切り花品評会(公民館)
- 29日 さわやか健康まつり(総合体育館)

9月 (September)

- 3日 当別町防災訓練(若葉公園)
- 5日 ファミリー農園・収穫まつり(青山)
- 14日 ふれあいスポーツ大会(総合体育館)
- 17日 「ほけ老人と共に歩む会」発足(改善センター)
- 20日 戦没者追悼式(改善センター)
- 26日 町民パークゴルフ大会(フラワーパークゴルフ場)
- 28日 石狩支庁地区社会福祉大会(改善センター)

1月から受け付けます 給与所得者の還付申告 年金受給者の還付申告

2月16日から受付する所得税の「確定申告」に先立ち、町では給与所得者と年金受給者の還付申告を1月から受け付けます。



対象者（所得税の還付が受けられる方）

- ①給与所得者の内、他に申告する所得がない次の方。
- ②医療費控除を受ける方
- ③年末調整後、扶養する人数が変わった方
- ④年の途中で退職し、年末調整を受けていない方
- ⑤年金取入のみの方など
- ⑥申告に必要なものを証明できる書類（源泉徴収票など）、(2)印鑑、(3)申告書の振込金融機関と口座番号、(4)控除に必要な証明書や領収書など申告の関係書類など

還付申告書、医療費明細書などの書類は、役場税務課・商工会に備えてあります。
また、確定申告は2月16日から3月15日までとなっておりますが、この時期は役場や税務署が大変混雑しています。すみやかな還付のために、確定申告時期の前に申告を済ませましょう。

住宅借入金等特別控除の申告

一定の要件がありますが、ローンなどを利用して住宅を新築・購入・改築した方は、確定申告をすることにより「住宅借入金等特別控除」を受け取ることができます。
平成11年または12年中に居住の用

2月中旬に実施予定 市街地循環バスの試験運行



鉄道やバスなどの公共交通機関は、通勤・通学・通院・買い物など地域住民の日常生活を支える足として重要な役割を果たしています。

現在、本町のバス路線には青山方面や江別への路線などがあります。また、乗合バスは、マイカーの普及などで利用者が恒常的に減少しているのが実態です。

しかし、市街地を循環するバスは、JR利用者や高齢者などには、日常

生活がより便利となる有効な交通手段となります。

町では、住民の利便性や利用者数との見込みなど、今後の生活交通の一つとなる新たなバス路線の運行の可能性について検討を進めています。

なお、2月中旬から2週間にわたり、民間バスによる市街地循環バスの試験運行が実施される予定です。町としても、試験運行の結果により、バス路線への町民の需要や今後の生活交通のあり方などを検討する基礎資料としていきます。

に供した場合、居住した年から15年間所得税が軽減されます。
サラリーマンは1年目に確定申告をする、2年目以降は年末調整で控除が受けられます。
住宅借入金等特別控除申告相談
日時 2月7日(月)・8日(火)
10時～12時・13時～16時
場所 役場大会議室

還付申告ほか 税務課からのお知らせ

「法定調書」の提出

給料・報酬・料金・利子・配当などの支払者は、支払先の住所・氏名・支払金額などを記載した書類（法定調書）を、役場の税務課経由で税務署に提出しなければなりません。

法定調書は、平成11年分を取りまとめ提出するもので、提出期限は利子・配当などの一部を除き次のとおりです。

- ▼提出期限 1月31日(月)
- ▼支払調書の主な種類
 - ①給与所得の源泉徴収票・給与支払報告書
 - ②報酬・料金・契約金・賞金の支払調書
 - ③不動産の使用料などの支払調書

提出先・詳細 税務課税務係
(☎352332)

償却資産の申告

1月1日現在、町内で事業を営み、事業用償却資産（構築物・機械及び装置・車両及び運搬具・工具器具及び備品など）を所有している方は、固定資産税（町税）が課税されます。

所有者は、期日までに「償却資産申告書」を税務課資産係まで提出ください。

▼提出期限 1月25日(火)

住宅用地の変更申告

住宅用地に対する固定資産税の課税標準は、特例として価格の3分の1（200平方メートル以下の小規模住宅用地は6分の1）になります。これは「住宅用地に対する固定資産税の課税標準の特例」によるもので、所有者の申告により認定されるものです。

▼対象者
1月1日現在、住宅の新築で新たに住宅用地として利用を始めた方や住宅の増改築・滅失などで既に住宅用地として平成11年度以前に申告している内容と異なっている土地を町内に所有している方。

▼申告期限 1月31日(月)

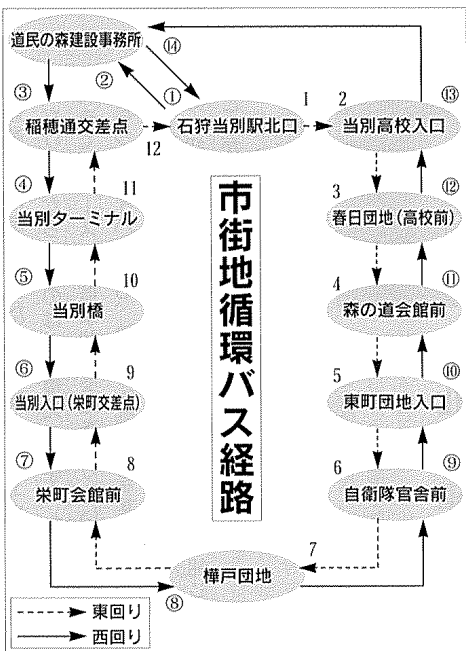
提出先・詳細 税務課資産係
(☎352333)

路線

・東回り [5.8km 所要時間18分]
経路 1石狩当別駅北口→2当別高校入口→3春日団地（高校前）→4森の道会館前→5東町団地入口→6自衛隊官舎前→7樺戸団地→8栄町会館前→9当別入口（栄町交差点）→10当別橋→11当別ターミナル→12稲穂通交差点→石狩当別駅北口

・西回り [7.0km 所要時間20分]
経路 ①石狩当別駅北口→②道民の森建設事務所→③稲穂通交差点→④当別ターミナル→⑤当別橋→⑥当別入口（栄町交差点）→⑦栄町会館前→⑧樺戸団地→⑨自衛隊官舎前→⑩東町団地入口→⑪森の道会館前→⑫春日団地（高校前）→⑬当別高校入口→⑭道民の森建設事務所→石狩当別駅北口

料金～有料（運賃は均一で、現金の利用のみ）
運行～札幌第一観光バス(株)
問合せ～企画課企画振興係(☎353042)
札幌第一観光バス(株)当別ターミナル(☎354571)
※詳しくは、広報とうべつ2月号でお知らせします。





冬道を安全に 自分の身は自分で守ろう

冬道を安全に走行するために、第一にチエックしておかなければならないのは、心構えです。たとえ、これまで何シーズンも無事故で冬道を走り抜いてきたベテランドライバーでも、決して油断できません。

「この冬も大丈夫だろう」という気持ちは捨て、改めて初心にかえり、冬道走行に潜む危険を肝に銘じることが大切です。

冬道は滑って当り前



人は冬になると、滑りにくい冬用の靴を履きますが、それでもツルツル路面に足を取られて転倒することがあります。

クルマも同じで、滑りやすい路面では、どんなタイヤを装着しても夏道と同じようには走れません。

なお、最近増えている4WD（四輪駆動）車は、発進・加速などの駆動性は高いのですが、ブレーキ性能は他の駆動車と差がないため過信は禁物です。

積雪路面や凍結路面などの冬道では、乾燥した舗装路面に比べて摩擦

力が極端に小さくなります。

滑りやすさは、夏道の4〜8倍になりますので、ドライバーは常に滑ることを想定しながら運転しましょう。

変化する道路状況

冬道の滑りやすさは、場所や気温、周辺の環境などにより刻々と変化します。また、変化の程度も様々でありません。滑りやすい場所と路面状態を理解しておきましょう。

滑りやすい場所 カープ、交差点、坂道、橋、トンネル、目隠の場所、踏切など。

滑りやすい路面状態

- (1) 融雪時よりも気温が度前後のとき
- (2) 降雪直後の白い路面よりも薄黒く凍っている路面（ブラックアイス）
- (3) アイスバノンにうつつら雪が乗っているとき
- (4) 除雪車が積雪を削り取った直後の路面やわだちなど、路面の凹凸が多い場合など

危険を読み取る

①路面状態（圧雪路・アイスバノン・ブラックアイスバノン・わだちなど）の変化を読み取りましょう。



②前方に細い十字路やカワソリンスタンド・コンビニなどがあれば、車の出入りがあることを予測しましょう。減速するほか、車間距離を長めにとるなど、出合い頭の事故や追突事故を防ぎましょう。

③郊外は、対向車が接近すると雪煙で視界が奪われることがあります。ワイパーは早目に始動させましょう。

④追い越しでの急加速・急ハンドルは、スピンを招きます。

冬道で追い越しする場合、「平坦な直線道路・わだちがない・対向車と十分な距離がある」など、道路条件を考えるほか、安全確認を十分した上で慎重に行いましょう。

⑤左カーブでは、対向車線に飛び出すことを想定し、必ずスピードを落

として進入しましょう。

⑥右カーブでは、センターライン付近に近づいて走行しがちです。対向車のふくらみも想定し、できるだけ左側に沿い、スピードを落として走行しましょう。

⑦下り坂では、車の荷重が前輪に移動します。後輪の接地力が弱まるため、「尻振りスリップ」を起し、方向安定性が失われます。エンジンブレーキを有効に使い、オーバースピードにならないよう走行しましょう。

歩行者も要注意

冬道では、歩行者が滑って転倒する場面を時々見かけます。不意の転倒は、骨折など大ケガのもとになります。

自分の身は自分で守る姿勢を歩行者も持つことが大切です。

新雪の下や日陰の道路、新雪の下には新水や堅く縮まった雪面が隠れているため、目隠の道路は凍っていることを予想しましょう。

道路の両端歩道と車道の境目、緩やかな勾配ができ、滑りやすくなっている所があります。

降雪時など自動車からは、歩行者が見えにくくなります。夜間は光に反射するものを身に付けるなど、歩行者の存在をドライバーに知らせるようにしましょう。



町交通安全指導員会 会長 大畑博行

町内には、国道が3路線あるほか、主要な道々が数多くあるため、通過型の事故が多く発生しています。これからの季節は、わだちやアイスバノンなど路面状況が大変悪くなりますので、より一層の慎重な運転が必要ですね。

最近では、車そのものに事故を軽減させる装置が備えられています。大衆車にも、ABS（アンチロック



町交通安全協会 会長 神田光男

町内の主要道路では、現在拡幅整備中の道央圏連絡道路国道337号や国道275号線の整備により、交通の高速化が心配されています。

また、冬期の事故で最も多いのはスリップ事故です。当別で冬に発生した人身事故の内、その約半数はスリップが原因です。

スリップは、発進時のアクセルの踏み過ぎなどで発生しますが、路面の凹凸、タイヤや荷重のアンバランス

ブレーキシステムも急ブレーキを踏んでも車輪をロックさせない装置やエアバックなどが装備されるようになりました。

しかし、運転の基本はやはり「急」のつく操作をしないことと早目のブレーキ、スピードダウンが絶対に必要です。

交通指導員になって28年を数えますが、いろいろな事故を見てきました。交通事故は、一瞬にして人生を変えてしまう恐さを持っています。

皆さんも「悲惨な事故に遭わない・起こさない」をモットーに、余裕のある楽しい、クルマ社会を過ごしてください。

一度失ったコントロールの回復は、高度な技術と運がなければ立て直しが困難です。自分の運転技術を見極め、スリップしたときの対処法を常に心に描きながら、「ゆとり運転」に徹することが大切です。

テレビや新聞などで報じられる事故の陰には、当事者の家族や友人などの多くの悲しみがあることを忘れず、安全運転に徹してください。



水稲採種組合が設立30周年記念式典

田西会館（園生）で開かれた当別町水稲採種組合（山田智組合長・16戸）の設立30周年記念式典。同組合は昭和44年12月に設立。農家に供給する種もみを生産しており、平成11年は84ヘクタールの“ほ場”に「きらら397」「あきほ」「ゆきまる」を作付けしました。式典には、組合員ら75人が出席。山田組合長が「現在の米をめぐる環境は価格の下落などで厳しいが、組合員の協力を得ながら着実に歩いていきたい」と述べ、30年を振り返りました。

（12月3日）



町立ホームで園児が劇などを披露

東・西保育所の園児が町立養護老人ホーム「長寿園」を訪問し、両保育所の“生活発表会”で披露した劇や遊戯を再演しました。同園を訪れたのは、東保育所12人と西保育所21人の5歳児。「花咲かじいさん」の劇や「キキとララのチャールストン」の遊戯が披露され、娛樂室に集まったお年寄り達からは、園児の“可愛いしぐさ”に明るい笑顔がこぼれていました。（12月6日）



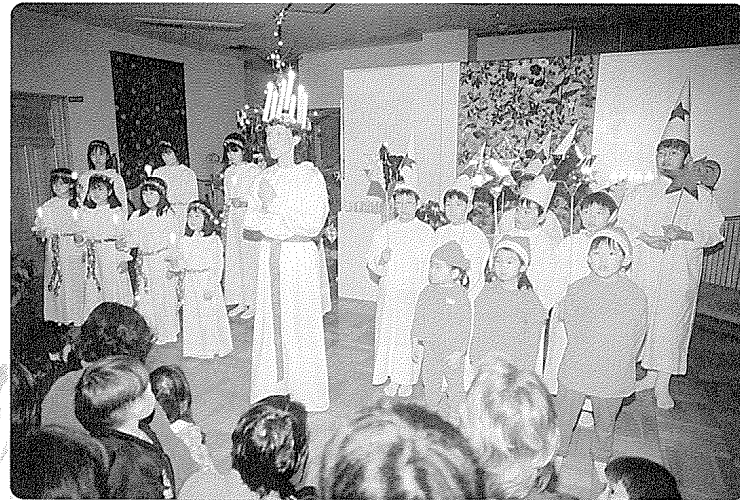
ヨイショ！ 川下保育所児童の「餅つき」

子供用の杵を振り上げ、臼の中の餅をつく川下保育所（葛西孝志所長）の児童13名。毎年行われている行事の一つ「餅つき」で、父母らが見守る中、児童は父親が途中までついたお餅に交替で挑戦。約1時間かけてつき上げた約3.5キロのお餅は昼食用の雑煮にされ、雑煮を会食した児童や父母らは一足早い“正月気分”を味わいました。（12月10日）



心に思うことを中・高校生が発表 少年の意見発表会

“いじめ防止決意宣言”で、いじめのない明るい学校づくりの励行などを誓う高橋也絵さん（蔵岱小6年）と種田大地くん（青山中央中3年）。町青少年問題協議会が開いた「少年の意見発表会」で、町内の中学生7人のほか当別高校生2人が環境・福祉問題、将来の夢などを発表しました。会場の公民館には、教育関係者など約120人が参列。日常生活で青少年がそれぞれ感じていることなどに聞き入りました。（11月20日）



幻想的な雰囲気約100人が浸る

ス・交流センターで「ロシア祭」

スウェーデン交流センターで開かれた北欧の伝統行事「ロシア祭」で、聖歌を歌うスウェーデン人と子供達。「ロシア祭」は日中でも暗い時間が長くなる12月に、“光へのあこがれ”を表す行事。クライマックスの“ロシア隊列の行進”では、ロシア姫に扮したガラス工芸指導者のアンナ・ヘーググリーンさんを先頭に、西当別小学校の児童ら20人が聖歌を歌いながら2階から1階へと下段。暗闇の中、ロウソクの灯りで映し出された同隊列の白い衣装や歌を歌う姿など、会場を訪れた約100人が幻想的な雰囲気に浸りました。また、この後、会場では、グレッグ（ホットワイン）やクッキーなどがふるまわれ、来場者は北欧気分を満喫していました。（12月12日）

なお、11月の末には、同センターのガラス・木工の各工房でクリスマスにちなんだ講習会が開かれ、参加者はスウェーデンガラスを使った“食卓用のキャンドルホルダー”・窓際に飾る“木製の星型ランプ”を製作しました。



“まちづくり”に貴重な意見「町政懇話会」

町政に対する提言や要望をお聞きする「町政懇話会」が、当別中学校を会場に開かれました。今年は各種の団体が対象で、この日は町長・助役・教育長などがコーラスグループ「当中レディースハーモニー」（堀内教子代表・22名）と懇談。最初に合唱の練習を見学した後、町政に対する貴重な提言や要望について意見交換しました。

（12月6日）

話題

まちなかのカメラ

ZOOM-UP

ズームアップ

本誌に登載の写真を希望者に差し上げます。
●申し込みは電話で、企画課広報広聴係（☎3-3069）へ。

国保 年金

Q & A

国保

国保に関する届け出

私は現在、自営業者ですが、家族全員が国保に加入していますが、長男が来月から就職することになりました。この場合、手続きは必要なのでしょうか。

加入や脱退など、国保の資格に関する届け出は、14日以内が原則です。届け出をせずに放っておくと、保険税などのトラブルの原因になります。

したがって、あなたの長男の場合、国保の脱退による手続きが必要です。会社から社会保険証の交付を受けたら必ず、社会保険証と国民健康保険証を役場に持参し、速やかに届け出願います。

なお、手続きが必要な場合と必要書類などは、次の通りです。

▼国保加入の場合

- (1) 転入した時、転出先の市町村から交付された転出証明書
- (2) 退職した時、社会保険資格喪失証明書
- (3) 子供が生まれた時、国民健康保

険証
(4) 生活保護に該当しなくなった時、保護廃止決定通知書

▼国保脱退の場合

- (1) 転出する時、死亡した時、国民健康保険証
- (2) 就職した時、職場の社会保険証と国民健康保険証
- (3) 生活保護の該当になった時、保護開始決定通知書と国民健康保険証

▼その他の場合

- (1) 退職者医療の対象になった時、年金証書と国民健康保険証
- (2) 転居した時、世帯主や氏名が変わった時、世帯を分けたり一緒にした時、国民健康保険証
- (3) 保険証を紛失した時、本人を証明する物（免許証など）

▼詳細 住民課国民健康保険係（☎332647）

納め忘れの解消のため、保険税の納付には、便利で確実な口座振替をお勧めします。手続きは、入金通帳・通帳の届け出印、保険税の納税通知書を持参の上、町内の金融機関へ申し出ください。

年金

私は58歳の主婦です。夫が先月に亡くなったため、「寡婦年金」と労働基準法による「遺族補償」を受けることができるのですが、2つ併せてもらえるのでしょうか。

「寡婦年金」は、夫の死亡日から10年以上の婚姻期間があり、老齢基礎年金の受給権を持っていないが、年金を受給する前に死亡した夫の妻に、60歳から65歳まで支給される年金です。

しかし、労働基準法の「遺族補償」を受ける場合には、夫の死亡日から6年間、「寡婦年金」の支給は停止されます。

したがって、現在58歳のあなたの場合、64歳になるまでの6年間は「寡婦年金」の支給が停止され、その後65歳までの1年間に限り遺族補償と併せて「寡婦年金」を受給することができます。

私は、昭和35年生まれの会社員です。私が学生だった頃は、20歳になって国民年金に加入する義務が無かったため、国民年金に加入しませんでした。私の、未加入期間、は、どのように扱われるのでしょうか。

法の改正により平成3年4月以降、学生の場合についても、20歳以上になれば国民年金の被保

険者として加入しなければならぬ強制加入に変わりました。（それ以前は、本人の希望による任意加入）

しかし、法の改正前（平成3年3月以前）に未加入者だった20歳以上の学生の期間については、老齢基礎年金などの支給要件（25年加入）となる「合算対象期間」の年数に算入されます。

ただし、国民年金には加入していないため、将来受ける年金の受給額には反映されません。

将来、国民年金をもらうことはできるのでしょうか。

国民年金は、将来にわたり制度を安定的に運営できるように、5年毎に財政が見直されています。なお、保険料のほか、国の負担や運用利益を加えて支給されるため大変有利です。

また、国民年金は、厚生、共済年金と併せた「基礎年金合計」で運営されているので、国民年金のみが不安定になることはありません。

役場窓口年金相談日

1月12日水・26日水

2月2日水

役場1階住民課国民年金係
年金保険相談の開設

主催 札幌北社会保険事務所

日時 1月20日木
10時～15時

場所 商工会館（錦町）

生活習慣病を防止

こんにちは 保健婦です



添田厚子さん
(役場保健婦)

た上、生活習慣を振り返ることができたようです。

検診でわかる生活習慣病

昨年4月以降の「基本健康診査」と昨年8・9月に実施した「巡回ドック」には、合計976人の方が受診しました。この内、結果に異常があった方は451人で、全体の46%を占めています。異常があった方の主な項目は、コレステロール・血圧・血糖など

で、放っておくと動脈硬化・心疾患・糖尿病などの病気を引き起こす危険性があるものばかりです。こうした病気は、以前「成人病」と呼ばれていましたが、「生活習慣のゆがみ」から生じるため、最近では「生活習慣病」という名称に変わりました。

生活習慣病は、初期だと自覚症状が現れにくいものです。このため、検診を受けないと発見できないことが多く、知らない間に進行してしまふ恐れがあります。

生活習慣病の予防策

生活習慣病を予防するには、これまで続けてきた生活習慣を見直し、生活習慣の改善を持続することが必要になります。

生活習慣を見直し
ヘルスアップ教室では、参加した方に次の項目をチェックしていただきます。

- (1) 1日の食事の内容と量、行動を記録する。
- (2) 生活習慣を改善するための目標を立て、毎日振り返る。

「間食が多かったこと、運動不足だったこと」など、今までの悪い生活習慣に気付いてもらいました。

生活習慣の改善を持続する

生活習慣の改善点に気付くことができたなら、次は持続することが大切です。

しかし、長年続けた生活習慣を改善しながら持続することは、1人では大変難しいものです。ヘルスアップ教室に参加した方のほか、検診を受けた方からは、「体に悪いのはわかっているが、つい甘い物を食べ過ぎてしまう。健康のために運動したいが、続かない」という話をよく聞きます。1人ではあきらめずに、自分が頑張っている姿を他人に見てもらったり励ましてもらったりすることが、持続の秘訣になります。

「健康相談」を利用ください

現在の自分の生活習慣を「何としたい」と悩んでいる方は多いと思います。

そんな方には、生活習慣病の予防や健康づくりのためなど、「健康相談」の利用をお勧めします。検診結果に基づき、保健婦や栄養士が生活習慣の見直し・改善に向けて手助けします。

▼申込・詳細 役場住民課保健衛生係（☎332503）

健診と相談

マタニティスクール

「Aコース」

テーマ 妊娠中を健康に

とき 1月25日火

会場 母子健康センター（緑町）

受付 12時50分～13時

会場 母子健康センター（緑町）

受付 12時50分～13時

会場 母子健康センター（緑町）

受付 12時50分～13時

会場 母子健康センター（緑町）

受付 12時50分～13時

会場 母子健康センター（緑町）

受付 12時50分～13時

会場 母子健康センター（緑町）

受付 12時50分～13時

会場 母子健康センター（緑町）

受付 12時50分～13時

会場 母子健康センター（緑町）

受付 12時50分～13時

会場 母子健康センター（緑町）

受付 12時50分～13時

会場 母子健康センター（緑町）

受付 12時50分～13時

会場 母子健康センター（緑町）

受付 12時50分～13時

会場 母子健康センター（緑町）

受付 12時50分～13時

会場 母子健康センター（緑町）

受付 12時50分～13時

会場 母子健康センター（緑町）

予防治療実施の医療機関

必要予約の医療機関

● 勤医協小川通診療所 ● 近藤医院 ● さわびさき医院 ● スウェーデン通り内科循環器科クリニック ● 当別ファミリークリニック ● 太美中央医院 ● 堀江病院 ● 予約不要の医療機関 ● とうべつクリニック ● DPT 第1・3木曜日、13時30分～16時30分 ● 麻しん 第2木曜日、13時30分～15時 ● D T 第2木曜日、15時～16時30分 ● 風しん 第4木曜日、13時30分～16時30分

集団接種

● ツ反 BCG ● 対象 生後3カ月～48カ月未満児

とき 2月 反 1月18日火

会場 福祉センター（白樺町）

受付 13時～15時

会場 母子健康センター（緑町）

受付 13時～15時

会場 母子健康センター（緑町）

受付 13時～15時

会場 母子健康センター（緑町）

受付 13時～15時

会場 母子健康センター（緑町）

受付 13時～15時

会場 母子健康センター（緑町）

受付 13時～15時

会場 母子健康センター（緑町）

受付 13時～15時

会場 母子健康センター（緑町）

受付 13時～15時

会場 母子健康センター（緑町）

受付 13時～15時

会場 母子健康センター（緑町）

受付 13時～15時

会場 母子健康センター（緑町）

受付 13時～15時

会場 母子健康センター（緑町）

受付 13時～15時

会場 母子健康センター（緑町）

受付 13時～15時

リハビリ教室

対象 脳卒中などにより心身機能が低下している方

とき 1月12日水・19日水

会場 母子健康センター（緑町）

受付 10時30分～14時30分

会場 母子健康センター（緑町）

受付 10時30分～14時30分

会場 母子健康センター（緑町）

受付 10時30分～14時30分

会場 母子健康センター（緑町）

受付 10時30分～14時30分

会場 母子健康センター（緑町）

受付 10時30分～14時30分

会場 母子健康センター（緑町）

受付 10時30分～14時30分

会場 母子健康センター（緑町）

受付 10時30分～14時30分

会場 母子健康センター（緑町）

受付 10時30分～14時30分

会場 母子健康センター（緑町）

受付 10時30分～14時30分

会場 母子健康センター（緑町）

受付 10時30分～14時30分

会場 母子健康センター（緑町）

受付 10時30分～14時30分

会場 母子健康センター（緑町）

受付 10時30分～14時30分

会場 母子健康センター（緑町）

受付 10時30分～14時30分

会場 母子健康センター（緑町）

受付 10時30分～14時30分

会場 母子健康センター（緑町）

受付 10時30分～14時30分

お知らせ

タウン インフォメーション
~Town Information~

役場 (代表 ☎3~2330 8時45分~17時15分)
役場太美出張所 (☎6~3190 9時15分~16時45分)
町政要望受信専用ファックス (☎5~5555)

募集 募集します

12年度の保育所入所児童を募集します。

町では、12年度の保育所入所児童を募集します。

▼受付期間と申込先
東・西常設保育所と南・北季節保育所より1月6日から31日まで、福祉保育課児童保育係へ。
ふとみ常設保育所より1月6日から31日まで、西差別へき地保育所へ。
▼へき地保育所
弁ヶ別・蔵岱・川下・東裏・中小屋へき地保育所より1月11日から31日まで、直接各保育所へ。
なお、西差別へき地保育所は、4月から「ふとみ保育所」と名称が変わるほか、へき地保育所から、常設保育所として運営されます。
また、常設保育所は、世帯内で課税のある方の世帯全員の平成11年分所得税、平成11年度分町民税

情報

1月12日に開設予定
当別町のホームページ



町では、より新鮮な情報をお知らせするため、家庭のパソコンなどで簡単に町の情報を検索できる「ホームページ」を開設します。

なお、町へのご意見・ご質問、ホームページの感想など、気軽にEメールでお寄せください。

▼ホームページアドレス
http://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/
▼Eメール info@town.tobetsu.hokkaido.jp

▼主なホームページの内容
(1)観光情報・道民の森など、町内の観光施設の紹介。
(2)町からのお知らせ・各種届け出・証明の手続き方法、社会教育施設の紹介。
(3)国際交流・スウェーデン・レクサント市と当別町との交流紹介。
(4)イベント情報・町内で開催されるイベントの案内。
(5)掲示板・情報交換・連絡・募集案内などをたても掲載できます。(ホームページに掲載する注

額を証明する書類が必要です。
(保育料は、課税状況により決定)

- ▼開設期間・保育期間
- ①常設保育所
通年開設。月・金曜は7時30分~18時30分(土曜は12時30分まで)。特別な事情のある場合は18時30分まで。
- ②季節保育所
4月から11月まで開設(必要に応じて変更)。月・金曜の8時30分~17時(土曜は12時まで)。
- ③へき地保育所
通年開設。月・金曜の8時30分~17時(土曜は12時まで)。
- ▼対象児童 就労などのため入所させる必要がある、集団保育や毎日の通所が可能な、平成8年4月1日以前に生まれた児童。
▼産休・育児明け入所の予約受付
「産後休暇」や「育児休業」明けに入所を希望する方(年度途中の入所希望者は、出産前から入所予約ができます)。
▼一時保育 保護者のパート就労(週3日以内)や傷病などにより、家庭で保育ができない児童を一時的に保育所で預かります。
▼実施保育所 ふとみ保育所(4月から実施)、なお、保育料など詳しくは、西差別へき地保育所(☎6~2353)へ。
▼詳細 福祉保育課児童保育係(☎3~3024)

健康

参加者を募集
メンタルエクササイズ



町教育委員会は、冬季間の運動不足を解消していただくため、「メンタルエクササイズ」プログラムを開きます。運動する機会がメッキリ減ったお父さんなど、気軽に参加ください。

▼対象 18歳以上の男性20人(女性でも、筋力トレーニングに興味のある方は参加ください)。

▼内容 町内または近隣市町村の体育施設を利用し、筋力トレーニング・ランニング・水泳スキーなどの運動を実施。

▼日程(全9回)
2月2日から3月29日までの毎週水曜、18時。(全てに参加できなくても可)

▼集合場所 総合体育館(白樺町)

▼参加料 保険料450円と各施設の利用料

▼申込期限 1月27日(木)

▼その他 各施設への移動手段は

保育所名 募集人数	常設		季節		へき地
	西(未広)	東(緑町) (障害舎)	ふとみ (太美町) (障害舎)	南(樺戸町) 北(六軒町) (障害舎)	弁ヶ別・蔵岱 川下・中小屋 東裏
0歳	4		3		
1歳	5		8		
2歳		6	12		
3歳	3	14	17	35 (各保育所)	35 (各保育所)
4・5歳	17		60		
計	29	20	100	35	35

その他

会場は総合体育館
1月10日は当別町成人式

町主催の「成人式」対象年齢は次のとおりです。めでたく成人式を迎えられた方は、直接会場へお出ください。

▼出席対象 昭和54年4月2日から昭和55年4月1日までに生まれた方。(住民登録のない帰省中の方なども出席ください)。

▼日時 1月10日(祝)、日時(受付は10時)

▼会場 総合体育館(白樺町)

▼その他 記念写真の申し込みは当日、会場で受け付けます。(男女別で一枚1,000円)

▼詳細 公民館(☎3~2511)

健康

参加者を募集
メンタルエクササイズ

町教育委員会は、冬季間の運動不足を解消していただくため、「メンタルエクササイズ」プログラムを開きます。運動する機会がメッキリ減ったお父さんなど、気軽に参加ください。

▼対象 18歳以上の男性20人(女性でも、筋力トレーニングに興味のある方は参加ください)。

▼内容 町内または近隣市町村の体育施設を利用し、筋力トレーニング・ランニング・水泳スキーなどの運動を実施。

▼日程(全9回)
2月2日から3月29日までの毎週水曜、18時。(全てに参加できなくても可)

▼集合場所 総合体育館(白樺町)

▼参加料 保険料450円と各施設の利用料

▼申込期限 1月27日(木)

▼その他 各施設への移動手段は

雪像コンクールの参加者募集

2月19日~20日に開催「あそ雪の広場」

「あそ雪の広場実行委員会」では、とうべつ冬の祭典「あそ雪の広場」の開催に併せ、今年も雪像コンクールを実施します。家族・職場・団体などで、多数応募ください。

なお、自宅などの敷地内で雪像を製作できない場合は、会場の阿蘇公園(元町)内で製作場所を提供します。

▼雪像のテーマ 「おくりもの」

▼大きさ 縦・横・奥行全て合計3メートル以上

▼表彰など 大賞(15万円相当分の商品券)ほか15賞で、総額70万円。(参加費を含む)

▼申込期間
(1)自宅で製作する場合 1月18日~2月11日
(2)会場内で製作する場合 1月18日~1月31日

▼定数 (1)併せて先着100基

▼その他 別途チラシを配布します。

▼申込・詳細 商工会(☎3~2447)

▼日時 2月19日~2月20日

▼場所 阿蘇公園(元町)

▼イベント内容 大雪像・滑り台などが造られるほか、雪中サッカー教室、飲食コーナー、花火、もちまき、シャンシャン馬ぞり、スノーモービルの運行など。

募集

国際交流に関心のある方など
ボランティアに登録を

町では、国際交流に関心を持つ方との連携を図るため、国際交流の主役として活躍するボランティアの登録を受け付けています。

▼対象 ホームステイを受け入れることができる家庭、日常会話として英語などの外国語を話せる方。

▼募集内容
(1)ホストファミリーボランティア

海外の方のホームステイを受け入れ、家族と海外の方との交流を深めていただきます。

外国語に触れることができる上、海外から来た方の国の事情や文化を知ることができます。

(2)外国語ボランティア

来町した海外の方の歓迎会や視察の際、会話をサポートしていただきます。

▼詳細 企画課企画振興係(☎3~3042)

募集

町民講座などの指導者

町教育委員会は、同教委主催の「町民講座」や「生涯学習講座」の講師として活躍していただける方を募集します。

自分の持っている技能を活かし、広く町民に教えたい方は是非応募ください。

▼応募資格 20歳以上で、指導を希望する方(他薦も可)。

▼指導項目
ヨガ・エアロビ・彫金・外国語・陶芸・織物・フラワーアレンジメント・料理・カーテニング・菓子作り・絵手紙など、文化・芸術・歴史の分野。

▼報酬 無償(ただし、町民講座の講師の場合、1時間当たり2,000円の報酬あり)。

▼その他 申し込みされた方には、「指導者バンク」の登録をしていただきます。

▼募集期間 1月12日~2月10日

▼申込・詳細 公民館(☎3~2511)

保健

対象者は受診ください
「肝がん」の集団検診

「設計等」建設工事に伴う物品など、入札参加資格審査の、中間申請書を受け付けます。

▼添付書類 納税証明書(法人税または法人事業税、消費税および地方消費税の写し。町内業者は、法人住民税も添付)

▼期間 2月1日~15日(土・日曜、祝日を除く)、9時~17時。

▼申請用紙
(1)建設工事・設計等
北海道土木協会(札幌市中央区北4条西4丁目ニュー札幌ビル5階)で販売。

(2)建設工事に伴う物品
管理用地課管理係に備え付け。

▼申請先・詳細 管理用地課管理係(☎3~3197)

最近、携帯電話・PHSなど移動電話からの110番通報が増えています。通報するときは、次の点に注意願います。

▼現場を離れたくない
付近の地理に不案内の場合、現場を離れてしまうと通報が的確に伝わらず、警察官の現場到着を遅らせてしまう場合があります。

▼移動しながら話さない
移動しながらの通話は声が聞き取りにくい上、電波状態が不安定になったり、途中で切れてしまう場合があります。

▼「道民肝友の会」では、肝がんの早期発見のため、集団検診を行います。この機会に、受診を考えてみませんか。

▼対象 B型・C型肝炎患者、肝硬変患者、肝炎ウイルス感染者、輸血歴のある方、家族に肝がん・肝硬変患者のいる方。

▼検診場所 難病センター(札幌市中央区南4条西10丁目)

▼検診内容 エコー・血液検査、専門医による療養相談など。

▼検診料 6,000円

▼定員 300人

▼申込受付 1月9日(日)~16日(日)、10時~16時。

▼申込・詳細 電話で、道民肝友の会(☎011~68550268)へ。



ひろば

約100人が親睦を深める
当別町女性のつどい

「であい・ふれあい・まなびあ」をテーマに日月26日、J A北いしかり女性部、地域の婦人会などで構成する「町女性団体連絡協議会(平よね子会長・約570人)の主催で「当別町女性のつどい」が開催されました。

会場の公民館には、約100人の主婦らが参加。同つどいでは、「患者の立場から考える」と題した鶴田光子氏(道医療大学看護福祉学部助教授)による講演会が開かれ、参加者は「病院と患者との関わり方」などについて聴講しました。

このほか、午後からは、参加者全員で「当別音頭」を踊ったり、フオークダンスなどのレクリエーションをして親睦を深めました。

建物は、木造2階建てで、総床面積が182.25平方メートル。2つの集会室ほか、洋室・相室・厨房を完備しています。なお、総工費は約3,150万円。

また、12月8日には落成式が行われ、伊達町長ほか建築関係者ら約40人が参加。式では、伊達町長が「地域住民の連帯の輪づくりができるよう、利用していただきたい」と挨拶。このほか、建築関係者には感謝状が贈られ、建物の完成を祝いました。



**新たに完成しました
園生の公民館世紀分館**

新築工事が進んでいた園生の公民館世紀分館(通称・世紀会館)が、11月30日に完成しました。同分館は、昭和45年に建設。地域住民の交流・学習の場として利用されていましたが、老朽化などのため、今年8月から工事が進められていたものです。

スウェーデン 喫茶室

ヘレナの

スウェーデン語とスウェーデンの紹介 Part10

こんにちは。今回は注文など普段よく使うスウェーデン語での日常会話ほか、「ディスタンス・スケート」というスポーツを紹介します。

日常会話

飲み物は何にしますか? Vad önskas att dricka?
(ウアー エンスカス アト ドリッカ)
コーヒーをください。..... En kaffe tack.
(エン カッフェ タック)
のどがかわいている。..... Jag är törstig.
(ヤー エー トウシュティグ)
ビールを飲みたい。..... Jag vill dricka en (stark) öl.
(ヤー ヴィル ドリッカ エン スタルクエール)
満腹です。/空腹です。..... Jag är mätt./Jag är hungrig.
(ヤー エー メット/ヤー エー フングリグ)
何かおいしいものを食べたい。..... Jag vill äta något gott.
(ヤー ヴィル エータ ノット ゴット)
トーストパンとゆでたまごをください。..... En rostat bröd och kokt ägg, tack.
(エン ロスタト ブレード オック コクト エッグ, タック)

スウェーデンのスポーツ②

スウェーデンでは、通常のスケートシューズとは異なる専用のシューズにブレード(刃)を取り付けて履き、氷結した湖の水面を渡り歩く「ディスタンス・スケート」というアウトドアスポーツが盛んです。

例えば、近隣の湖を往復したり、北海道から京都ぐらまでの長距離を渡ったりなど、それぞれ目標を決めて楽しむのです。

でも、このスポーツは気温に左右されるため、愛好者は氷の状態を知らせる情報をテレビの専門コーナーでしっかり確認してから実行するとともに、万一氷が割れて湖に落ちたとしても安全なように、アイスピック、ロープなどを入れた救命用の浮き袋の働きをするリュックを背負い、自分の体力などに応じた目標地点まで滑るんです。

内科急病当番医

1 月						
① 太	② 勤	3 堀	4 近	5 さ	6 堀	7 堀
8 と	⑨ 堀	⑩ 太	11 勤	12 堀	13 近	14 さ
15 堀	⑬ 太	17 と	18 堀	19 太	20 勤	21 堀
22 近	⑮ さ	24 堀	25 堀	26 と	27 堀	28 太
29 勤	⑯ 堀	31 近				
2 月						
1 さ	2 堀	3 堀	4 堀	⑤ 堀	⑥ 太	7 勤
8 堀	9 近	10 さ	⑪ 堀	12 堀	⑬ 堀	14 と

勤 14時~17時
近 17時~19時
太 19時~7時
堀 9時~17時
と 17時~19時
と 19時~7時

協 ①3-3010 鶴田町
協 ①3-2021 園生
協 ①5-2055 北栄町
協 ①2-1313 園生
協 ①6-2332 太美町
協 ①2-3111 樺戸町

寄付

ありがとうございます
ございました

- ☆当別小学校へ
- ▼高橋正夫さん(西町)から高橋真樹文庫用児童図書3万冊分
- ☆中小屋小学校へ
- ▼中小屋小学校開校百周年記念事業協賛会(石崎那征会長)からフランクコホカ12点
- ▼藤原恵二さん(中小屋)から松本・オンコ2本
- ☆公民館図書室へ
- ▼ルピナス96(福江三千代代表)から書籍22冊
- ☆西当別コミュニティセンター図書室へ
- ▼西当別町女性団体連絡協議会(鈴木礼子代表)「ゆふれあい夏祭り合同婦人部」尾崎眞代表から書籍29冊
- ☆各小中学校へ
- ▼地球環境セミナー実行委員会

☆2~1160でサービス 災害発生場所などの情報

当別消防署では、「災害案内テレホンサービス」を行っています。同サービスは、町内で火災などの災害が発生した場と、災害の発生場所や救助などを音声でお知らせするものです。

(坂本千鶴実行委員長から書籍12セット)(地球は今:3金10巻)
☆町社会福祉協議会へ

- ▼山田修嗣さん(金沢)から10万円
- ▼須藤正三さん(高岡)から5万円
- ▼黒田保行さん(美里)から5万円
- ▼片桐アキエさん(六軒町)から5万円
- ▼石綿英彦さん(中屋)から5万円
- ▼松本久仁さん(弁華)から雑巾60枚
- ▼桑原クララさん(春日町)から雑巾15枚
- ▼石磯12個
- ▼笠森ヒデさん(上当別)から雑巾20枚
- ▼北成グループ婦人会(古江悦子会長)から雑巾100枚

法律・登記の無料相談

法律相談
相談日時 2月3日(毎月第1木曜・1月は中止) 13時~14時
申込・詳細 福祉課 福祉係(☎3-3019)
登記相談
相談先・詳細 札敷法務局江別出張所(☎011-382-2132)

氏名(年齢)	世帯主	住所
山田 正二(85)	修嗣	金沢
畠谷 豊(60)	本人	東町
高橋 正雄(81)	本人	太美町
岡本 タマ(82)	忠雄	春日町
佐藤 智恵(73)	本人	樺戸町
須藤 正三(85)	本人	太美町
天野 八ツ(88)	英之助	白樺町
中越 まゆみ(29)	貞	樺戸町
工藤 俊晴(51)	本人	栄町
石綿 ラリヨ(88)	英彦	中小屋
阪本 元江(86)	市太郎	茂平沢
木山 光雄(75)	本人	東町
袴田 幸吉(87)	義男	美里
鈴木 マチ子(58)	昇	元町
鈴原 博子(74)	智人	春日町
山田 進(87)	本人	広町
近藤 昭(67)	本人	東町
岩倉 正一(91)	本人	太美町
郷家 ヨシ(91)	本人	北栄町
日野 ハナ(91)	本人	下川町

おめでとう おめでとう

長谷部 葉々子(女) 男 2歳6ヵ月 春日町
小林 優己(男) 男 1歳10ヵ月 春日町
古本 電二(男) 男 1歳10ヵ月 当別町
吉本 玲菜(女) 崇美/出守 茂平沢
横山 依真(女) 久史/玲子 当別町
岩田 網康(男) 英博/美樹 末広
伊藤 愛未(女) 龍雄/幸子 美里
細越 文音(女) 哲也/美希 太美町
有柳 健介(男) 浩二/夏代 北栄町
北村 大男(男) 理二/美実 太美町
飯林 悠花(女) 等/衣子 春日町
飯塚 一牙(男) 正幸/美紀 春日町
清水 翔稀(男) 博介/夏生 春日町

2月上旬から供用を開始予定 西部地区の公共下水道

獅子内に建設中の「当別西部下水ポンプ場」が間もなく完成し、2月上旬から西部(太美)地区の公共下水道が供用を開始します。



五十嵐 潔さん（園生）

昨年9月に設立した「当別町ほけ老人と共に歩む会」の会長を務めるほか、平成4年12月からは心身障害者への援護制度などの情報を提供する「民生児童委員」を務める。会社員で、妻・勝子さん、姉・志津子さん、子・友美さんと督恵さんの5人暮らし。

いまを生きる

編集後記



■明けましておめでとうございます。本年もK・A&M氏ともどもよろしくお願ひします。

さて、私にとってはアツという間に過ぎた1年でした。その間、楽しいこと・つらいことなどいろいろ体験しましたが、皆さんは私の「ズッコケ」話で楽しんでいただければと思います。

昨年10月、私はスキーを持参し、中小屋スキー場へ写真を撮りに行きました。カメラの肩をつたったバックを左肩にかけて、山頂からゆっくり滑降していましたが、途中でスピードがついてしまったのです……。

ターンしようと思ったら、バックが大きく振られたのと同時に何と私まで「アレー!!」

「雪ダルマ」になった私の姿を見て、大爆笑していたS教育課のKさんが一言「大丈夫? カメラ?」

(K・A)

■新しい年が明けました。今年は何(電)年。私の干支ではないのですが、5回目の辰年を迎えます。皆さんにとつては、何年目の辰年でしょうか。竜は想像上の動物で、雲を呼び雨を降らせると言われています。天空を飛び、雷鳴を轟かせるイメージがあります。大水害になったら困りものです。

竜神様の出番は、日照りで干ばつの時だけにしてもいいでしょう。でも、景気をはじめとして、今年は何に昇る竜のように、躍動的な年になればと思います。

(M)

「妻が脳出血で身障者になってしまい、町が実施している、介護者のつどい。に4年ほど前から参加し始めました。私の場合は、痴呆性の家族を抱えていませんが、同じ介護者の立場として何かの役に立てればと思っただけです」と話す五十嵐さん。

五十嵐さんは、「北海道ほけ老人を支える家族の会」の49番目の支部として、昨年9月に設立された「当別町ほけ老人と共に歩む会」会長を務めるほか、心身障害者への援護制度などの情報を提供する「民生児童委員」を務めています。

同会では、痴呆性老人を抱える家族らが悩みを話し合い、支え合うため、2カ月毎に「会員つどい(次回は1月26日開催)」を開いているほか、会報の発行などにより、痴呆性老人を介護する方への相談や支援を行っています。

「在宅の場合、介護者は常に痴呆性老人から目を離すことができなくなるため、抱えるストレスは計り知れないと思います。そんな介護者

のストレスを発散させ手助けすることに、この会の意義があるんです」と話します。

同会の会員数は、現在77名。痴呆性老人を介護しているA会員12名、以前介護を経験したB会員4名、介護者を後ろ立てするボランティアなどのC会員61名で構成されています。

「痴呆は、本人と家族とで病院にかかれれば、必要なアドバイスを受けられるほか、症状の進行を遅らせることもできます。しかし、本人にとつては痴呆を認めたくない方がほとんどだと思います。病院には、老人科という専門の科が少ないので、精神科・神経科に通院すると、本人が嫌がるのは当然です。A会員の中には、本人に知らせずに入会している方もいます。本人と一緒に通院できない家族など、この会で悩み解決の糸口を見つけてもらえれば幸いです。」と謙虚に続けます。

また、「いずれは町内にも、託老所」を設置できれば」と、五十嵐さんの期待は膨らみます。